

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
芸術学部	芸術学科	夜・通信	14			14	13	
人間発達学部	子ども発達学科	夜・通信				14	13	
音楽学部	演奏学科	夜・通信	8		6	14	13	
	音楽文化創造学科	夜・通信			6	14	13	
美術学部	美術学科	夜・通信	6		8	14	13	
デザイン学部	デザイン学科	夜・通信	8		6	14	13	
(備考) 音楽学部(演奏学科、音楽文化創造学科)、美術学部(美術学科)、デザイン学部(デザイン学科)・・・2017年度学生募集停止								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページにおいて公表 https://www.nua.ac.jp/files/pdf/kyouin&kamoku.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当学部なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/yakuin_01.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	令和3年6月 11日～令和5 年6月10日	組織運営体制への チェック機能 経営計画の策定
非常勤	会社代表取締役	令和3年6月 11日～令和5 年6月10日	組織運営体制への チェック機能 ガバナンス強化
非常勤	会社代表取締役	令和3年6月 11日～令和5 年6月10日	組織運営体制への チェック機能 経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)の作成については、授業科目の担当教員が確定した後、速やかに作成を依頼している。授業科目の担当教員は、シラバス作成の記入要領を記載したマニュアルに従い作成する。そのマニュアルにおいては、授業の到達目標、授業の概要、授業計画、成績評価の方法と基準等々、シラバス記載項目について説明している。作成されたシラバスについては、年度初めの履修登録時に公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学ホームページにて公表 http://meigei.nua.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Kmh006</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業科目の担当教員は、授業計画(シラバス)において予め示された成績評価の方法と基準のとおり、各授業科目の学修成果の評価を行い、これに基づき、成績の判定と単位の授与を行っている。 シラバスでは、授業の到達目標において、どの程度到達することができたのかを的確に評価できるような目標設定を求め、その授業の到達目標に対する学修成果の達成度を適切に評価できる方法(筆記試験、期末レポート等)を成績評価の方法とし、その成績評価の方法を用いて、達成度を判定するための基準を示すこととしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価の客観的な指標としてG P A (Grade Point Average) を設定している。G P Aは、成績評価に対してG P (Grade Point) を定め、次の計算式により算出している。</p> <p style="text-align: center;">(履修科目の単位数×G P) の合計／履修登録科目の単位数の合計</p> <p>上記の計算式に従い、履修科目の成績に基づき、各学期及び積算のG P Aを学生ごとに算出している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/files/pdf/hyouka&ninntei.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針として、次の通り学部ごとにディプロマポリシーを策定している。</p> <p>芸術学部： 専門的実践を通じて社会に寄与する能力と知識を備え、所定の単位を取得した者に学士（芸術）の学位を授与する。</p> <p>人間発達学部： 保育・教育の理論とスキルを学び、豊かな人間性と芸術的感性を備え、教育・福祉の両面で、地域に貢献できる力を獲得した者に学士（教育学）の学位を授与する。</p> <p>ディプロマポリシーに基づき、学部ごとにカリキュラムポリシーを策定し、各学部の目的、教育目標（養成する人材像）を達成するためのカリキュラムを編成している。このように編成されたカリキュラムにおいて、所定の卒業要件単位（芸術学部 124 単位、人間発達学部 126 単位）を修得することによって、卒業を認定し、学位を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>全学生及び教員に配布している学生便覧において、各学部のディプロマポリシーを記載するとともに、本学ホームページにおいて公表している。 https://www.nua.ac.jp/about/admission/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/keisan_2020.pdf
収支計算書又は 損益計算書	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/keisan_2020.pdf
財産目録	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/zaisan_2020.pdf
事業報告書	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/jigyou_2020.pdf
監事による監査 報告(書)	本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/kansa_2020.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 学校法人名古屋自由学院 中期計画 対象年度: 2020~2024年度)	
公表方法: 本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/keikaku_2.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/H29jikotenken.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/about/files/pdf/H29houkoku.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページにて公表） https://www.nua.ac.jp/about/admission/
（概要） 本学は教育基本法・学校教育法に則り、芸術に関する専門の学術技芸、また、人間発達に関する専門的知識を教授研究し、さらに、広範な展望の下、歴史・社会に位置づけるべき総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化ならびに人間発達の創造発展に寄与しうる人を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表） https://www.nua.ac.jp/about/admission/
（概要） 芸術学部： 専門的実践を通じて社会に寄与する能力と知識を備え、所定の単位を取得した者に学士（芸術）の学位を授与する。 人間発達学部： 保育・教育の理論とスキルを学び、豊かな人間性と芸術的感性を備え、教育・福祉の両面で、地域に貢献できる力を獲得した者に学士（教育学）の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表） https://www.nua.ac.jp/about/admission/
（概要） 芸術学部： 芸術文化の発展と地域・社会に貢献するため、各領域の専門教育を充実させ、領域横断的に広く学ぶことでキャリア形成も複眼的に図っていくことができるカリキュラムを編成している。 人間発達学部： 保育士養成課程、幼稚園および小学校教諭養成課程の 3 課程を創造的かつ計画的に組み合わせることで、多様性が求められるキャリア形成に即応し進路を明確にするカリキュラムを編成している。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページにて公表） https://www.nua.ac.jp/about/admission/
（概要） 芸術学部： 芸術に創造的な価値を見だし、自己の潜在能力を導きだし、それらを通じて社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ領域単位で掲げる以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。 〔求める学生像〕 ＜音楽領域＞ ・ 音楽への意欲と情熱、音楽の理論と実技・実践を学修する勤勉性と能力、芸術文化への幅広い視野と関心、音楽への発展を通じて文化的な社会を形成する視点を有していること ＜舞台芸術領域＞ ・ 舞台芸術（音楽・演劇・舞踊）と社会におけるそれらの価値や役割に強い情熱と関心と学修意欲を持ち、豊かな創造力と想像力、コミュニケーション力を活かして、舞台芸術の発展と舞台芸術を通じた社会課題の解決に臨む意欲があること ＜美術領域＞ ・ 美術に対する関心や探究心があり、制作や表現に対して創造的な価値を見だし、そ

<p>れらを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること</p> <p><デザイン領域></p> <ul style="list-style-type: none"> デザインに対する関心や探究心があり、モノづくりや思考を通じて、様々な問題を解決することで社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲が備わっていること <p><芸術教養領域></p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術学部を設置する各領域各分野をはじめ、現代の多様な文化や社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかしつつ、地域と社会がかかえる課題を協働して解決していく意欲があること <p>人間発達学部：</p> <p>高度な実践力を備えた保育士、幼稚園・小学校教諭、あるいは子どもたちとの様々な関わりを通して社会に貢献することを志す人材を育成するため、学部が掲げる目的や教育理念と目標を理解し、かつ以下の「求める学生像」が備わっている人材を求める。</p> <p>[求める学生像]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが好きであり、高い倫理観と豊かな人間性が備わっていること 将来、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭などの保育・教育職、あるいは子どもたちに関わる各分野で活躍したいという意欲があること 協調性を備え、高いコミュニケーション能力が身につけていること 議論を通して学びを深めようとする好奇心や探求心があること

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/faculty/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
人間（科）発達学部（教員養成）	—	7人	10人	1人	0人	0人	18人
芸術学部	—	36人	30人	14人	0人	0人	80人
美術学部	—	0人	0人	0人	0人	0人	0人
音楽学部	—	0人	0人	0人	0人	0人	0人
デザイン学部	—	0人	0人	1人	0人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		374人				374人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：本学ホームページにて公表 https://www.nua.ac.jp/teacher/						
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間発達 (科)学部 (教員養成)	100人	46人	46%	420人	221人	53%	10人	5人
芸術学部	485人	530人	109%	2010人	1955人	97%	35人	5人
美術学部 ※募集停止	人	人	%	人	5人	%	人	人
音楽学部 ※募集停止	人	人	%	人	2人	%	人	人
デザイン学部 ※募集停止	人	人	%	人	8人	%	人	人
合計	585人	596人	102%	2430人	2191人	90%	45人	5人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間発達 (科)学部 (教員養成)	69人 (100%)	0人 (0%)	63人 (91%)	6人 (9%)
芸術学部	286人 (100%)	26人 (9%)	185人 (65%)	75人 (26%)
美術学部 ※募集停止	3人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	3人 (100%)
音楽学部 ※募集停止	6人 (100%)	0人 (0%)	2人 (33%)	4人 (67%)
デザイン学部 ※募集停止	16人 (100%)	0人 (0%)	9人 (56%)	7人 (44%)
合計	380人 (100%)	26人 (7%)	259人 (68%)	95人 (25%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画（シラバス）を本学ホームページにおいて公表しており、授業科目ごとに授業の方法、概要、年間の授業計画を記載している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 卒業要件、成績の評価と単位認定、ディプロマポリシー等について、全学生及び教員に配付している学生便覧に記載するとともに、ディプロマポリシーについては、本学ホームページにおいて公表している。 https://www.nua.ac.jp/about/admission/				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術学部	芸術学科	124 単位	○・無	48 単位
人間発達学部	子ども発達学科	126 単位	○・無	48 単位
音楽学部	演奏学科	124 単位	○・無	48 単位
音楽学部	音楽文化創造学科	124 単位	○・無	48 単位
美術学部	美術学科	124 単位	○・無	48 単位
デザイン学部	デザイン学科	124 単位	○・無	48 単位
G P Aの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 全学生及び教員に配付している学生便覧に記載するとともに、本学ホームページにおいて公表している。 https://www.nua.ac.jp/campuslife/campus/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
人間発達 学部	子ども発達学科	600,000円	200,000円	610,000円 510,000円	実習費、教育充実費
芸術学部	芸術学科 美術領域	850,000円	200,000円	690,000円 590,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 デザイン領域(文芸・ラ イティングコース以外)	850,000円	200,000円	690,000円 590,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 デザイン領域(文芸・ラ イティングコース)	700,000円	200,000円	600,000円 500,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 音楽領域(声楽、鍵盤楽 器、弦管打、サウンドメデ ィア・コンポジション、ミュ ージカル、ポップス・ロック& パフォーマンス、音楽総合、 ワールドミュージック・カル チャーコース)	1,325,000円	200,000円	540,000円 440,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 音楽領域(ミュージック エンターテインメント・ディ レクション、声優アクティ ング、ダンスパフォーマンス コース)	800,000円	200,000円	540,000円 440,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 音楽領域(音楽ケアデザ インコース)	1,225,000円	200,000円	540,000円 440,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 音楽領域(ウインドアカ デミーコース)	1,060,000円	200,000円	540,000円 440,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 芸術教養領域	700,000円	200,000円	600,000円 500,000円	実習費、教育充実費
	芸術学科 舞台芸術領域	850,000円	200,000円	690,000円 —円	実習費、教育充実費
美術学部	美術学科 ※募集停止	850,000円		590,000円	実習費、教育充実費
音楽学部	演奏学科 ※募集停止	1,325,000円		540,000円	実習費、教育充実費
	音楽文化創造学科(エ ンターテインメントディレ クション選択コース、音楽ケ アデザイン選択コース以外) ※募集停止	1,325,000円		540,000円	実習費、教育充実費
	音楽文化創造学科(エ ンターテインメントディレ クション選択コース)※募集 停止	700,000円		500,000円	実習費、教育充実費
	音楽文化創造学科(音 楽ケアデザイン選択コース) ※募集停止	1,125,000円		540,000円	実習費、教育充実費
デザイン 学部	デザイン学科 ※募集停止	850,000円		590,000円	実習費、教育充実費

※「その他」については、上段が令和3年度入学者、下段は令和2年度までの入学者となっている。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 建学の精神に基づき、奨学金及び設置法人「名古屋自由学院奨学金基金」を財源として本学独自の奨学金を運営し修学支援を実施している。主な奨学金制度として「名古屋芸術大学学費減免制度」、「名古屋芸術大学兄弟姉妹学費減免制度」、「名古屋自由学院緊急奨学金制度」、「名古屋芸術大学入学特待生制度」等がある。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア教育科目（担当：教員）と就職支援プログラム（担当：キャリアサポート室）を連動させることで、1年生から4年生まで徹底的にキャリア形成に向き合い、自らのキャリアについて体系的に学び、段階的に成長していくことで、希望の進路をつかみ取ることができるよう、それぞれの学生の希望に沿うサポートを行っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の怪我や体調不良への対応と健康相談の実施。メンタル相談や、学生相談室の紹介。怪我や事故に対しての災害傷害保険、賠償責任保険の対応。定期健康診断に関する業務と再検査の実施。感染症予防対策。持病や障害のある学生のサポート。以上を必要に応じて教員、他部署と連携しながら行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページにおいて公表している。 https://www.nua.ac.jp/about/disclosure/nua/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F123310106835
学校名	名古屋芸術大学
設置者名	学校法人 名古屋自由学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		145人	132人	152人
内 訳	第Ⅰ区分	71人	71人	
	第Ⅱ区分	39人	36人	
	第Ⅲ区分	35人	25人	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				152人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	20人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	20人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。